



自衛隊栃木地方協力本部

職場体験学習支援（マイチャレ）を実施 ～自衛隊のお仕事体験～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村 一 空尉）は、担当区域の職場体験学習（以下、マイチャレという。）を支援した。

マイチャレとは、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や実際に仕事を体験したり、働く人々と接したりする学習活動である。（文部科学省学習指導要領より引用）

令和6年6月のマイチャレについては、足利市立山辺中学校（5日～7日）の生徒3名、足利市立第二中学校（6日、7日）の生徒2名、足利市立第三中学校（10日、11日）の生徒3名、佐野市立北中（11日～13日）の生徒3名、足利市立第一中学校（12日～14日）の生徒3名、宇都宮駐屯地、北宇都宮駐屯地や陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）等を訪問することで、自衛隊の仕事内容や勤務環境を紹介することができた。

生徒の中には、今回のマイチャレを通じ、「自衛隊は楽しい職場ですね！」などの声があり、有意義な学びの場となった。

足利地域事務所は「今後も、将来を担う若者に対し、自衛隊の魅力をお伝えしていく」としている。



マイチャレの様子（北宇都宮）

栃木県益子町自衛隊家族会部隊見学支援 ～現代の防衛と過去の戦史を学ぶ～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川 3 陸佐）は、6月1日（土）、益子町自衛隊家族会（会長 岩崎 忠彦氏）22名（事務局1名含む）の陸上自衛隊土浦駐屯地の部隊見学のほか、予科練平和記念館（茨城県阿見町）及び筑波海軍航空隊記念館の施設見学支援を行った。

今回の部隊見学は、会長が現職時に所属していた陸上自衛隊土浦駐屯地を選定し、現在の自衛隊部隊の任務や活動について現地で学び、さらに会員同士の懇親をより深めることを目的に計画された。

土浦駐屯地に到着後は、駐屯地広報担当者より駐屯地の成り立ちと役割についての説明を受けた。参加者は、土浦駐屯地・武器学校が後方支援部隊などの指揮官、幕僚を養成するための教育・訓練を行う施設であり、将来の自衛隊のリーダー育成の役割を果たしており、自衛隊の強力な戦力を支える重要な拠点であることを学んだ。

続いての予科練平和記念館は、予科練（海軍飛行予科練習生及びその制度の略称）を主体とした貴重な資料等が展示されており、参加者は戦史の記録資料や写真を感慨深い様子で見学していた。さらに筑波海軍航空記念館（日本最大規模の戦争遺構筑波海軍航空隊の記憶を語り継ぐ戦争ミュージアム）では、貴重な文化遺産である旧筑波海軍特攻隊史跡について学ぶことができた。

これらの資料館見学を通じて参加者からは「土浦駐屯地の役割に加えて戦争と平和を考える上で忘れてはならない多くの戦史を学ぶことができた。我が国の戦史を風化させることなく心に深く刻み付け次の世代に継承していけるよう、今後このような戦争資料館見学を通じて学びたいです」等の感想が聞かれた。

真岡募集案内所は「自衛隊部隊研修等を通じて、家族会をはじめとする協力者の自衛隊活動への認識と理解の醸成に繋がるとともに、戦史を学ぶ事のできる施設や資料館見学の支援にも尽力していきたい」としている。



土浦駐屯地の概要説明を受ける様子



資料館見学の様子



益子町自衛隊家族会の参加者